

優秀賞

エネルギーでまちづくりゲーム

山口 明彦（教員：福井県）

エネルギーに注目したまちづくりゲーム。従来のまちづくりゲームにはエネルギーに関する視点、特に地域内のエネルギー自給や地域内資本循環に関する視点が乏しかった。このゲームでは、インフラや住宅、施設をデザインすると、それらの維持に必要な資金とともに必要エネルギーが示され、プレイヤーはそれぞれのエネルギーをどうやって確保するかを考えていく。

地域外からエネルギーを購入することは簡単だが、その分の地域運営資金が減り、しかもその購入エネルギーが石油などの非再生エネルギーであれば環境貢献ポイントがマイナスとなる。プレイヤーはいかに再生エネルギーを地域内でまかない、さらには地域内で生産した再生エネルギーを域外に販売して利潤を生み、それを地域の文教・福祉事業などの公益事業や地域交通の運営資金として活用するなど、エネルギー自給と地域内資本循環プランを試行錯誤し、評価ポイントアップを競う。

このゲームを通して、地域内のエネルギー自給率向上の重要性や、再生エネルギーの持続可能な運用管理の難しさなどを学びながら、地域活性化に参画する感覚を養っていくことができる。

このゲームでは各プレイヤーが行うまちづくりの過程で、リアルタイムにその取り組みに対する評価ポイントが示される。評価ポイントは、投入資金に対する地域内で生み出されるエネルギー、さらには環境貢献ポイントによって算出される。評価ポイントが高いプロジェクトには、月間賞や年間賞などの表彰があり、参加プレイヤーの中でのランキングも表示される。

参加のオプションとしては、小中学校などの団体プレイヤー参加なども用意されている。評価のオプションとしては、自治体や企業の評価者による特別表彰、およびアイデアの買い取りなども用意されている。優秀なプランは政府や自治体が進めているスマートシティ、スーパーシティ構想のモデルとして採用される可能性もある。